

平成23年度事業計画

当財団は、見本市、展示会等の開催を通じ、経済取引の円滑化及び流通機能の拡充強化を図るため設置運営され、今日まで地域経済の健全な発展に寄与してきました。

本年度においても、富山産業展示館の管理運営をはじめ、見本市、展示会等の開催協力などの事業を関係機関団体と連携を図りながら、適切かつ効率的に実施し、産業技術、情報の交流の拠点として今後ますます活用されるよう次の事項に重点的に取り組み、親しまれる施設づくりに努めます。

1 催事の誘致のための営業活動の強化と利用日程の調整

- (1) 富山県、富山コンベンションビューロー、全国展示場連絡協議会など関係機関からの各種イベント情報の把握に努め、利用の促進を図ります。また、ウィークデーイベントの奨励誘致に努めます。
- (2) 多種多様な企画に対応するとともに、できるだけ利用申込みに対応できるよう利用日程の相互調整を行うことにより、利用者の便宜を図り、利用率の向上に努めます。

2 常設展示場の充実

- (1) 自主事業の一環として、県内各市町村から「ふるさとの味と技」をテーマに選定出品されている地場産品を引続き紹介し、販路拡大を支援します。
- (2) 「特選品コーナー」を設け、市町村及び富山県いきいき物産株式会社と連携をとりながら、その季節にふさわしい県内特産品を展示し、地場特産品の振興を図ります。

3 管理運營業務の強化

- (1) 主催者、設営業者及び来館者に対し、常に清潔で安全、快適な展示空間を提供できるよう、施設設備の改善・整備と美化に努めます。
- (2) 施設設備に不備が生じていないか留意し、適時適切な修繕等に努めます。
- (3) 周辺施設等との円滑な連携に努め、主催者及び来館者の便宜を図ります。
- (4) 当展示館で開催されるイベント情報の的確な広報に努めます。
- (5) 自衛消防訓練の実施等により、事故のないように最大限の注意を払い日常業務に当たります。

4 新公益法人制度への対応

平成25年11月末を移行期限とする新公益法人制度に対応するため、法人の形態や諸規程の整備に関する検討を行うなど、準備を進めてまいります。